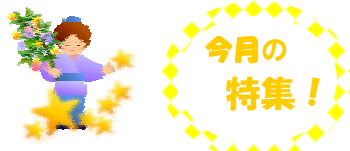


# 木もれ日

こもれび・komorebi・木もれ日

総合建設・一級建築士事務所  
株式会社 日向建設 ひゅうがけん  
〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 10-4  
http://hyuga.co.jp どこまでが夢ですか  
TEL 0467(47)5454 FAX 0467(44)0303



## バリアフリーの家づくり ホームエレベーター取付けとリフォーム工事

(東京都杉並区 中村邸)



「とても快適でいいですよ。」と中村さん。

「我が家にホームエレベーターがあったら、車椅子でも自由に行き来できて、便利だろうなとずっと考えていました。」という中村様。  
家で寛ぐ時間をもっと快適に過ごせるよう、自宅にホームエレベーターを付けたいというご相談を受けました。  
今回は、バリアフリーのリフォーム工事とエレベーター工事を行った中村邸を見学させて頂きました。

「現在お住まいのお宅に、後からエレベーターを設置するという事でしたので、まずはどこに設置するかを十分に検討しました」。  
中村邸では、2階出口が和室部分に当たったため、洋間に直して工事が始まりました。  
場所が決まったら、まずは床部分に土台を作るところから工事が始まります。



▲土台には、砕石を入れ、その上に鉄筋を組みます。この型枠の組み方は難しい職人技。コンクリートを一度に流し込めるから作業がよりスムーズに進みます。

「エレベーターの取り付けと同時に考えたのが、家全体をバリアフリーにしよう、ということでした」。

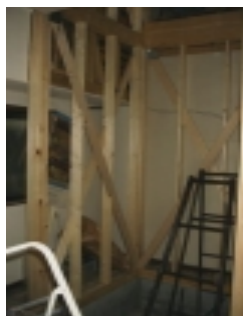
具体的には、通路の狭さの原因となっている「柱」を移動することで、廊下や洗面所の入り口の幅を広げるという工事をを行います。  
これにより、車椅子でも通りやすくなりました。また、2階にもトイレと洗面所を取付けました。  
車椅子の方や、小さなお子様、ご高齢の方などにとっては、ちょっとした段差も怪我のもとです。家の中の段差をなくしたバリアフリーの家にとくに注目が集まり始めたのは、ここ数年前からです。

「バリアフリーのリフォーム工事は、住みながら工事ができます。エレベーターも、後付け工事が可能ですから、新築時に設置しなかったけれど後で必要になったという方も諦める必要はありません。【工事期間】は、10日間前後です。【費用】は、エレベーター単体の工事なら、約200～300万円位です。

今回の中村様のように、エレベーター取付けとリフォーム工事を同時に行えば、さらに効果的ですね。」

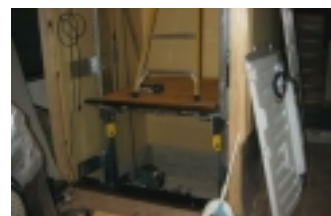


▲土台もすっきり固まりました。エレベーターの1階ピットが出来上がり

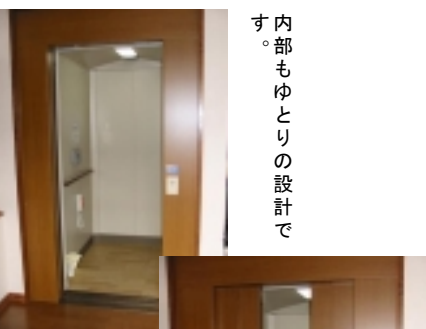


▲周囲に筋違いを組んでいきます。

「家を少しリフォームするだけで、家の中の行動範囲が広がります。一人で動くことが増えて、元気に生活できるのではと思います。そうした住まいづくりのお手伝いをさせて頂けるのは、本当に嬉しいことです。ちょっとした工夫でとても快適な生活がおくれるようになりますよ。まずは、ご相談下さい。」



いよいよ、エレベーター内部(人が乗るところ)を取り付けました。



す内部もゆとり設計で

うお扉  
デ部成も  
ザ屋で取  
イのすリ  
ン費!付  
で困け  
す気て  
ねにも  
よくい  
合よ



只今点検中! すみずみまで安全チェック。



電これ  
動源が  
でエ  
すレ  
ベーター  
の

## ～法隆寺を支えた木の秘密～ コンクリートの寿命、木の寿命

我々は今、時勢80年の長寿社会を迎えようとしています。日本が世界最大の長寿国となったのは、とても嬉しいことですが、さて、私達の住まいや、公共の建物などに使用されている【建築用の材料】は、一体どのくらいの寿命があると思いますか?

種類	寿命
コンクリート	年
鉄	年
松	年
杉	年
けやき	年
ひのき	年



(ヒント:最後の宮大工と称される、西岡常一氏の著作「法隆寺を支えた木」(NHKブックス)を参考にしています)

基本的には、「工業化材料」と「自然の材料」に大別されると思います。工業化された材料は無機質なものが多く、一方、「木」などの自然材料は生物系のもので、双方共に、それぞれ特徴をもっています。

木造建築物で一番古い建築物は何かご存知でしょうか?…そうです、奈良の法隆寺の伽藍(がらん)です。建築されてから、約1300年経っています。ただ、最初に建てられたままではなく、50～80年に一度、屋根替えと言って屋根瓦の葺き直しをします。そのとき同時に、傷んだ部分の修理も行います。  
故・西岡常一(にしおか・つねかず)氏は、「最後の宮大工棟梁」といわれた人です。日本建築の原点ともいべき飛鳥時代の古代工法で大伽藍を造営することができ、宮大工で初めての文化功労者でもあります。宮大工の仕事に誇りを持ち、お弟子さんは生涯でただ一人しかとりませんでした。

その西岡氏は、著書「法隆寺を支えた木」の中でこう記しています。「法隆寺の建物は、ほとんどヒノキ材で、主要なところは、すべて樹齢1,000年以上のヒノキが使われています。そのヒノキが、もう1,300年を生きて、ピクともしません。」「大切にすれば千年二千年もつ木のいのちを、なぜ(いまの時代は)100年はおろか、20～30年で絶つような使い方をするのでしょうか…」。



世界遺産でもある、飛鳥時代に建築された法隆寺。世界中から観光客が訪れる。

木を建築用の材料として使用することは、日本の風土に最も適しており、昔の職人さんはそのことをよく理解し、上手に利用していました。

私たちは、今一度、木という材料の特徴を活かした家づくりについて考えてみる時期なのではないでしょうか。

品名	寿命
コンクリート	年
鉄	年
松	年
杉	年
けやき	年
ひのき	年

【回答】(建築用の材料の寿命)

## 鎌倉マイホーム学院 『我が家のインテリアについて』 ～内装材のコーディネーションの実践～

「みなさん、自分の住みたいお部屋のイメージを決めて、お部屋をコーディネートしてみましょう。サンプルは沢山あります。好きなものを使って、イメージどおりのお部屋を完成させてくださいね!」  
(株)サンゲツの林 佐佳重さんを講師に迎えてこの授業は、鎌倉マイホーム学院の授業の中でも、人気講義のひとつです。この講義では、まずは内装材(例えば壁紙、床材、クロス、カーテン、レースなど)についての基礎知識を勉強し、授業後半に、実際に生地サンプルを使用して、具体的なインテリアコーディネートの基礎を学んでいきます。

「お店に行ってもこんなに沢山の生地サンプルはないかもしれない、というほどの布サンプルの数。その中から、自分の好きなものを選んで、切ったり貼ったりしました。工作のようで楽しかったです!」こうして、生徒さんがそれぞれ自分の部屋を作成します。完成したら、全員が順番に、皆の前で作品の発表をします。



授業風景。皆さん、真剣に林先生の話を聞いています。



講師は(株)サンゲツの林さん。

例えば、「私は『ナチュラルな部屋』というイメージでそれぞれの素材を選んで作ってみました」という生徒さん。これに対し、講師の林さんが、1人1人の作品にワンポイントアドバイスをしてくれます。「よりイメージに近い部屋にするためには、こちらのカーテンの色でも合いますよ。」と、丁寧に解説してくれます。

こうした知識は、自宅ですぐに実践できるためか、女性には特に好評の講義です。

インテリアコーディネートは、簡単な基礎知識と、自分が作りたいイメージを工夫する心があれば誰にでもできるのです。自分らしい家づくりに欠かせない要素となるでしょう。

## 洗面所とお手洗いのリフォーム



特集の中村邸で、リフォームした洗面所とトイレが気になった方も多いのでは?今回、特別に見せて頂きました。「どちらも、生活に欠かせない場所ですから、使いやすさにこだわってリフォームして頂きました。」柱を移動して空間を広げるというのは、知識と経験豊富な職人さんでなければ出来ない工事です。柱は家の構造上特に重要ですから、慎重に扱う必要があります。「おかげで移動が楽になりました。とても気に入っていますよ!」と笑顔の中村様でした。

## ■編集後記

梅雨があけて、いよいよ暑い夏がやってきます。この時期、「とにかく暑いのは苦手、寝る時もクーラーを付けたまま」という方もいらっしゃるかもしれません。

暑さは、湿度と密接な関係があります。涼しく過ごすポイントは、いかに湿気を家の中から追い出し、適度な湿度を保てるかという事です。冷房だけでなく、除湿をうまく利用しましょう。また、夏涼しい家は、冬は暖かいのです。これは断熱性の問題です。

暑い夏、体に気をつけてお過ごし下さいね。

